

那覇市保健所 新型コロナウイルス感染症（市民向け）Q&A

R2.1.29 現在

那覇市保健所 保健総務課 結核・感染症 G

098-853-7971

1. 新型コロナウイルスに関するもの

1-1 コロナウイルスとは？：そもそもコロナウイルスとはなんですか？

（厚労省定形回答）：人や動物の間で広く感染症を引き起こすウイルスです。人に感染症を引き起こすものはこれまで6種類が知られていますが、深刻な呼吸器疾患を引き起こすことがあるSARS-CoV（重症急性呼吸器症候群コロナウイルス）とMERS-CoV（中東呼吸器症候群コロナウイルス）以外は、感染しても通常の風邪などの重度でない症状にとどまります。詳細は、国立感染症研究所の情報ページをご参照ください。

○国立感染症研究所 人に感染するコロナウイルス

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-2020-01-10-06-50-40/9303-coronavirus.html>

表1. ヒトに感染するコロナウイルスの特徴

ウイルス名	HCoV-229E, HCoV-OC43, HCoV-NL63, HCoV-HKU1	SARS-CoV	MERS-CoV
病名	風邪	SARS（重症急性呼吸器症候群）	MERS（中東呼吸器症候群）
発生年	毎年	2002年～2003年（終息）	2012年～現在
発生地域	世界中で人類に蔓延している	中国広東省	アラビア半島とその周辺地域。全症例の80%以上はサウジアラビアからの報告。中東以外の国では輸入例が報告されている（韓国、イギリスなど）。
宿主動物	ヒト	キクガシラコウモリ（中国南部に棲息）	ヒトコブラクダ（中東、アフリカに棲息）
死亡者数／感染者数	不明／70億	774／8,098	858／2,494（2019年11月30日時点）
感染者の年齢	多くは6歳以下。全年齢に感染する	中央値40歳（範囲 0-100歳）*（子供には殆んど感染しない）	中央値52歳（範囲 1-109歳）（子供には殆んど感染しない）
主な症状	鼻炎、上気道炎、下痢	高熱、肺炎、下痢	高熱、肺炎、腎炎、下痢
重症者の特徴	通常は重症化しない	糖尿病等の慢性疾患、高齢者	糖尿病等の慢性疾患、高齢者、入院患者
感染経路	咳、飛沫、接触	咳、飛沫、接触、便	咳、飛沫、接触
ヒト-ヒト感染	1人→多数	1人から1人以下。スーパースプレッダーにより、多数へ感染拡大が見られた。	1人から1人以下。スーパースプレッダーにより多数へ感染拡大することがある。
潜伏期間	2-4日（HCoV-229E）	2-10日	2-14日
取扱実験施設	BSL2	BSL3	BSL3
感染症法（拡大防止策）	指定なし	二類感染症	二類感染症
感染症法（病原体管理）	指定なし	二種病原体	三種病原体

1—2 新型コロナウイルスとは？：武漢市で発生している新型コロナウイルスによる肺炎とは、どのような病気ですか？

詳細はまだ分かっていません。発熱、空咳に始まり、息切れ、呼吸困難を訴える患者もいるようです。進行すると肺炎所見があるようです。現時点では「肺炎患者について新型コロナウイルス感染を疑っている」状況なので、肺炎のない新型コロナウイルスの感染者がどれくらいいるのか、まだ分かっていません。

1—3 死亡率は？：新型コロナウイルスに感染した場合には、死亡することもありますか？

高齢者や基礎疾患のある方で死亡例が出ているようです。この傾向はインフルエンザも同様です。同じコロナウイルスによる重症急性呼吸器症候群（SARS；致命率9.6%）や中東呼吸器症候群（MERS；同34.4%）よりは致命率は低いようです。

1—4 治療薬やワクチンは？：新型コロナウイルスに対する治療薬やワクチンはありますか？

現時点で新型コロナウイルスに対する治療薬やワクチンはありません。

1—5 感染経路は？：新型コロナウイルスは、どのようにして感染するのですか？

最初は動物から人に感染したようです。現在は限定的ですが、ヒトからヒトへ感染しているようです。インフルエンザと同じように飛沫感染と接触感染と考えられています。医療行為など特別な条件がなければ空気感染はないとされています。

1—6 日本での感染拡大は？：日本国内でもこれまでに複数の患者が確認されたと聞きました。これらの方々から国内で感染拡大する可能性はあるのでしょうか？

確かに既に複数の患者が確認されています。その多くは輸入症例と言われる方々です。この方々は、日本国外で感染し、日本国内で確認された方々です。ただ、残念ながら、1月28日に確認された1名は、日本国内で感染したと思

われます。日本国内でもヒトからヒトへの感染が始まっているのかもしれません。しかし、現時点ではこの方1名ですので、国内で感染が拡大しているとは断定できません。

1—7 ヒトーヒト感染は？：当初、武漢市内の海鮮市場において感染していると報道されていましたが、行ったことのない人からも感染者が出ているようです。すでにヒトからヒトへの感染が拡大しているのではないのでしょうか？

中国国内ではヒトーヒト感染で拡大しているようです。1月28日に確認された1名は、日本国内で感染したと思われます。日本国内でもヒトからヒトへの感染が始まっているのかもしれません。しかし、現時点ではこの方1名ですので、国内で感染が拡大しているとは断定できません。

1—8 春節の影響は？：中国では、1月24日から春節の連休が始まります。日本を訪れる方も多いかと思いますが、それによって、感染が拡大する可能性はあるのでしょうか？

1月23日、中国政府は武漢市に通じる交通機関を停止しました。24日には、この措置を武漢市含む湖北省全域に拡大しました。実質的な封鎖です。また24日、日本の外務省は武漢市の感染症危険レベルを3に引き上げました。「武漢市への渡航は止めてください（渡航中止勧告）」というメッセージです。これらの対応でリスクはかなり軽減されます。また1月24日から検疫所での水際対策も強化されます。27日からは中国政府は海外への団体旅行を禁止しています。これまでよりは日本に感染者が入ってくる可能性は低くなっていますので安心情報とお考え下さい。

1—9 感染力は？：新型コロナウイルスはインフルエンザの様に感染しやすいのですか？

現時点ではよく分かっていません。感染のしやすさの指標として基本再生産数（RO：アールノートあるいはアールゼロ）があります。感染者一人が何人に感染させるかという数字です。麻疹（はしか）は感染力が強い代表で、麻疹は15前後（12～18）と言われています。毎年冬に流行するインフルエンザは2前後です。今回の新型コロナウイルスは、現時点では、2よりも少し高いという報告もありますが、最終的には2よりも低くなり、インフルエンザよりも感染力が低いだろうと推測されています。

1－10 指定感染症とは？：指定感染症とはどういったものですか？これまでとどう変わるのでですか？

政府は1月28日の閣議で新型コロナウイルス感染症が国内発生した場合、指定感染症とすることを決定しました。指定感染症に指定されると患者に入院を勧告することができ、勧告に従わない場合は強制入院させることができます。これまで、入院や自宅安静について、患者に「お願い」しかできませんでした。医療費については、公費負担となり、通常自己負担分はなしとなります。

2. 市民の対策は？

2-1 市民の対策は？：新型コロナウイルスへの感染を防ぐため、どのような対策をとればよいのでしょうか？

患者を診療する可能性のある医療従事者でない限り、現時点で特別な対策をとる必要はありません。あえて挙げるとすれば、咳エチケットや手洗いなど日々の感染対策をしっかりとすることです。インフルエンザが流行していますが、咳エチケットや手洗いはインフルエンザの対策でもあります。その対策をしっかりとお願いします。こうした心がけが、今回の新型コロナウイルスを防ぐことにもつながります。

2-2 市民の対策は？：新型コロナウイルスについて情報が不明で不安

不安はごもっともですが、県内で発生がない段階で特段の心配は不要です。ヒトーヒトの感染は限定的です。武漢への渡航歴のある方や、そういう方との接触歴がない限り過剰な心配は不要です。それよりも、インフルエンザが流行しているので、そちらの心配と対応をお願いします。手洗いや咳エチケットなどの感染対策をお願いします。発熱や咳などの症状がある人は、仕事は休み、周囲にうつさないように注意してください。これらの対策は新型コロナウイルスに対しても有効です。

3. 観光業・旅行業従事者の対策は？

3-1 観光業・旅行業従事者の対策は？：海外からの観光客、特に中国からの観光客を迎える観光業・旅行業従事者は、どのような対策をとればよいのでしょうか？

基本はインフルエンザの対策と同じです。咳エチケットや手洗いなど日頃の感染対策をしっかりしましょう。

多くの人が触れる箇所の消毒も有効です。日常的な消毒に加えてこまめな消毒を実施することは感染予防の強化と言えます。

なお、1月29日時点で、厚労省は、患者の立ち寄り先には、消毒等の特別な処置は不要との見解を示しています。

4. 検疫の対策は？

4-1 検疫の対策は？：検疫を徹底すれば、国内への侵入を防げるのではないか？

検疫は症状のある方には有効ですが、感染していても潜伏期間中の方は無症状ですので、完全には防げません。入国後、症状が出現した場合に、速やかに医療機関を受診し早期診断することは、その後の感染拡大防止につながります。そのため、検疫では流行地から無症状で入国された方には、症状出現時に速やかに医療機関を受診するよう呼び掛けています。言い換えると、検疫で国内侵入は完全には防げませんが、その後の感染拡大防止につながる呼びかけをしているということです。

5. 医療機関の対策は？

5-1 医療機関の対策は？：疑い患者来院時の対応について（医療機関）

最新の「中国湖北省武漢市で報告されている新型コロナウイルス関連肺炎に対する対応と院内感染対策」に沿った対応をお願いします。以下は簡単な例。

- 2週間以内の武漢市への渡航歴・2週間以内の新型コロナウイルス感染疑い者との接触歴の有無＋症状（37.5°C以上の発熱と呼吸器症状）の確認
- （可能なら）インフルエンザ等の除外
- 管轄の保健所への相談（中等症～重症はもちろん、軽症であっても自宅安静・外出自粛が担保できない方）
- （保健所においてリスクなど判断し、行政検査実施する場合）行政検査の検体採取

注意：症例定義や対応は、今後の状況に応じて変更される予定です。

5—2 医療機関の対策は？：武漢以外の中国から沖縄に来た旅行客が発熱した場合の対応

1月28日の時点では、2週間以内の武漢の渡航歴の有無で判断。その際に、武漢渡航歴ある人物との接触や、新型コロナ患者・疑い患者との接触歴も確認。症例定義に当てはまれば、管轄の保健所へ連絡。

注意：症例定義や対応は、今後の状況に応じて変更される予定です。

5—3 医療機関の対策は？：医療機関向けのフローチャートで症状が軽症の場合（医療機関）、帰宅させて良いか？

最新の「中国湖北省武漢市で報告されている新型コロナウイルス関連肺炎に対する対応と院内感染対策」に沿った対応をお願いします。例えば、現時点では、入院の必要がない場合は、自宅安静等の感染拡大防止管理ができる方であれば帰宅させてよいとなっています。軽症であっても自宅安静・外出自粛が担保できない方は管轄の保健所にご相談ください。

注意：症例定義や対応は、今後の状況に応じて変更される予定です。

5—4 医療機関の対策は？：疑い患者の接触個所の消毒は？

明らかな接触個所は、アルコールによる拭き取り消毒をお願いします。

なお、1月29日時点で、厚労省は、患者の立ち寄り先には、消毒等の特別な処置は不要との見解を示していますが、ここでの立ち寄り先は一般的な施設と思われます。医療機関では、疑い患者が接触した個所が特定されるのであれば、アルコールによる拭き取り消毒をお願いします。インフルエンザも流行しています。一般的に、外来患者が接触する頻度の多い個所については、非流行期よりもこまめな消毒が望ましいです。

6. 宿泊施設の対策は？

6—1 宿泊施設の対策は？：ホテルの宿泊客・従業員に症状が出た場合

（厚労省から通知がある予定）

症例定義に合う方には、

- 医療機関の案内先は特に指定はなし。内科であればどこでも。受診拒否が多ければ、管轄の保健所へご相談を。

- 医療機関への移動手段。自家用車、出来れば公共交通機関は使わないようお願いする。最悪マスク装着しタクシーで移動。
- 疑い患者の使用した部屋・ホテルの送迎車などの消毒について。アルコール消毒（噴霧や清拭）と換気を行う。
- なお、1月29日時点で、厚労省は、患者の立ち寄り先には、消毒等の特別な処置は不要との見解を示しています。

参考

- 厚生労働省
- 国立感染症研究所